

令和5年度 河川事業の取組みについて

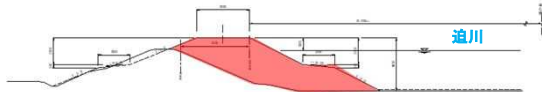
令和6年3月31日

洪水被害等から人命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしを確保するため、迫川等をはじめとした各河川の治水対策や、流水を阻害する支障木伐採及び堆積土砂撤去を推進しました。また、令和4年7月の豪雨による71箇所の被災箇所の災害復旧工事を完成しました。

1 迫川河川改修事業による治水安全度の向上 < 築館工区 >

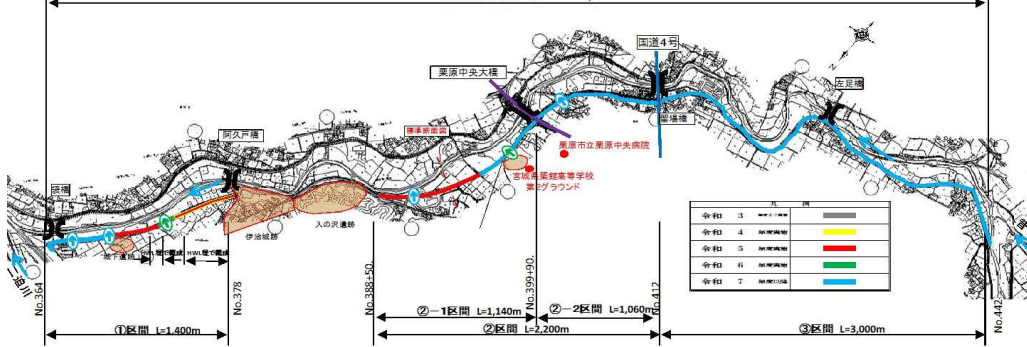
築館工区(二迫川合流部から昔川合流部まで)の河川改修については、令和3年度から整備に着手し、下流部における築堤工事(一部区間)を令和4年度に完成させ、中流部の築堤工事を令和5年度に着手した。また、樋管設計の完了や中流部の用地隘路解消に向け、検討・整理を行いました。

迫川(築館工区)標準横断面



迫川(築館工区)河川改修事業計画

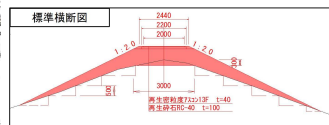
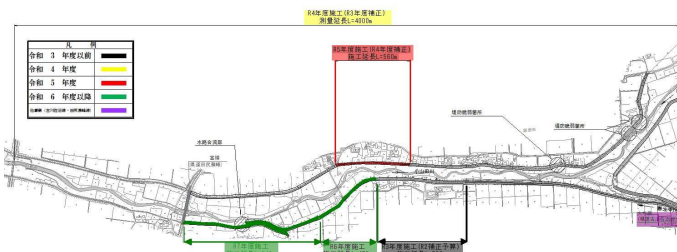
迫川築館工区 L=6,680m



2 小山田川河川改修事業による治水安全度の向上

小山田川は整備後40年以上経過し、度重なる出水や地震等の影響により堤防の脆弱化や沈下等がみられることから、既存堤防の機能強化に向けた嵩上げや腹付盛土等を行っています。

令和5年度については、築堤盛土(右岸側L=510m)工事が完了するとともに、国土強靱化補正予算を活用し左岸側L=490mの工事に着手しました。

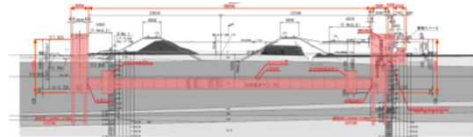


3 荒川河川改修事業による治水安全度の向上について < 築館萩沢地区 >

築館萩沢地区を流下する荒川は県道と並行し、大雨時には伊豆沼からの背水の影響を受け、越水や冠水などの被害が度々発生している。このため、河川改修と一体的に県道の嵩上げ整備を行い、治水機能の強化や冠水被害を軽減させ、地域の安全で安心の早期確保を図るものである。

令和5年度は令和3年度から実施してきた荒川横断サイフォン改築工事の完成に加え、道路改良(嵩上げ)工事などの工事に着手しました。

荒川横断サイフォン 一般図



4 令和4年7月豪雨による被害状況について

令和4年7月豪雨による被災箇所一覧表

工種	河川・路線名	国災	
		件数	(箇所数)
河川	迫川	2	(2)
河川	小山田川	6	(11)
河川	瀬峰川	12	(14)
河川	善光寺川	4	(9)
河川	透川	1	(1)
河川	荒川	6	(11)
河川	熊谷川	1	(1)
河川	八沢川	1	(1)
河川	照越川	6	(6)
河川	夏川	5	(5)
河川	地田川	2	(3)
河川	二迫川	1	(3)
河川	芋塚川	7	(9)
河川	金生川	3	(6)
河川	昔川	7	(12)
河川	長崎川	3	(3)
河川	金流川	2	(2)
河川	有馬川	1	(1)
道路	(一)花山一迫線	1	(1)
計		19	71 (101)

令和4年7月の豪雨により、栗原管内の71箇所被害を受けたことから、令和4年度内に復旧工事を全て発注し、早期完了に向けて、順次、工事を推進させ70箇所が完成した。残る1箇所(迫川)については、現地状況や流況等の変化に伴い、仮設工法等の見直しが必要となり設計検討や地元漁協との協議に時間を要したため、令和6年4月の完成となります。

○被災時



越水状況(令和4年7月10日 高清水石沢市内)

○完成



(令和6年3月22日 高清水石沢市内)

宮城県土木部総合情報システムについて

栗原地域の降水量や河川水位等が確認できます。洪水時には、地域の情報等とあわせて確認のうえ、早めに避難して下さい。



危機管理型水位計(熊谷川)

下記アドレスか右のQRコードより「宮城県土木部総合情報システム」にアクセスすることができます。(http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/)

また、中小河川における洪水時に住民等へ迅速な避難を促すことを目的に、栗原地域の河川10箇所に危機管理型水位計を設置しました。洪水時には河川水位を下記アドレスか左のQRコードより確認できます。(https://k.river.go.jp/)

※お気づきの点や、ご意見などがありましたらご連絡願います。
宮城県北部土木事務所栗原地域事務所 河川砂防班
〒987-2251 栗原市築館藤木5-1 宮城県栗原合同庁舎
TEL 0228-22-2193(直通)/FAX 0228-22-9049
URL http://www.pref.miyagi.jp/nh-khdbk/
E-mail nh-khdbk@pref.miyagi.lg.jp

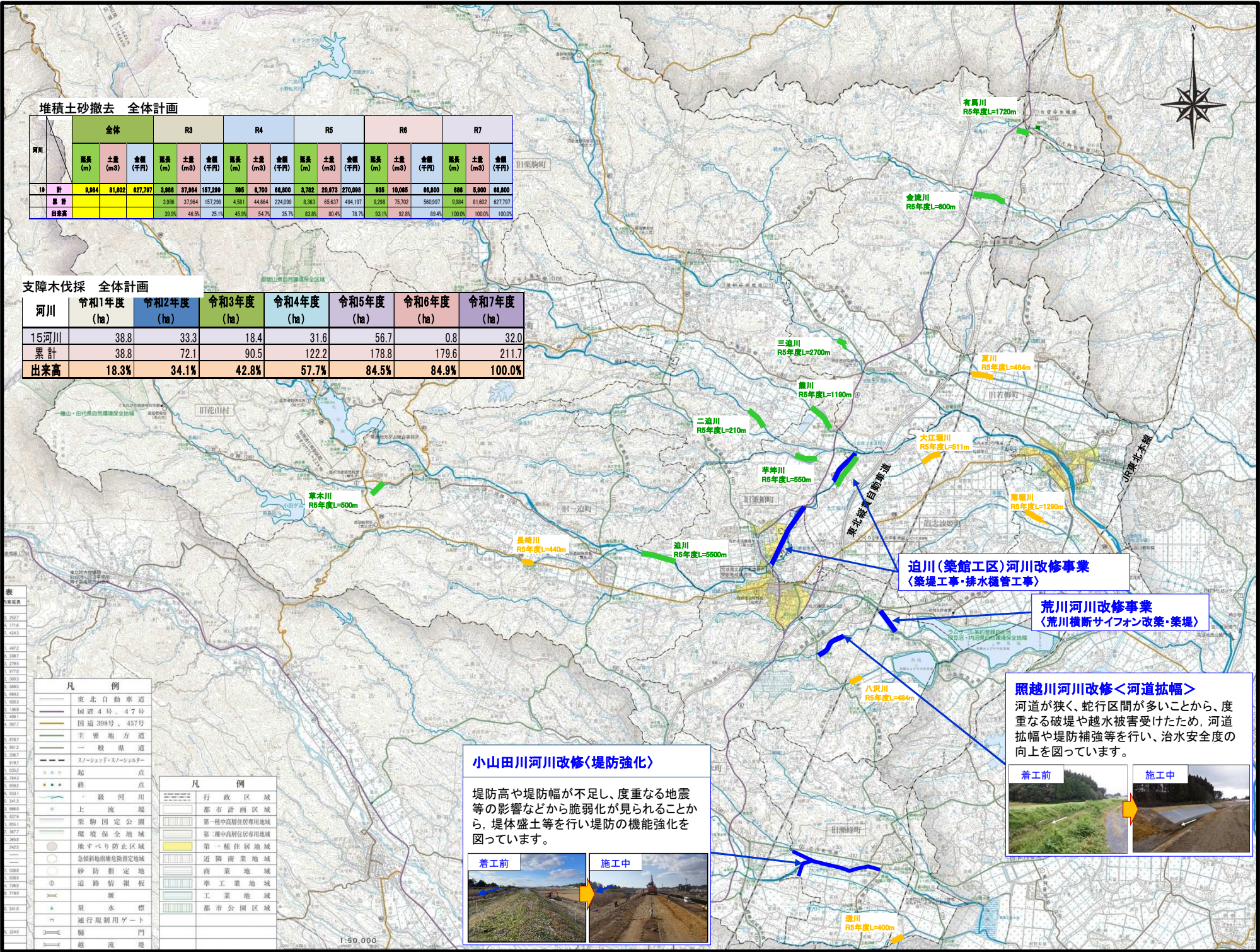


堆積土砂撤去 全体計画

河川	全体			R3			R4			R5			R6			R7		
	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)	延長 (m)	土量 (m ³)	金額 (千円)
15 計	9,984	81,802	627,797	3,886	37,864	167,289	695	6,700	68,800	3,782	20,873	270,098	935	10,085	66,800	688	5,900	64,800
累計				3,986	37,964	157,289	4,581	44,664	224,099	8,363	65,637	494,197	9,298	75,702	560,997	9,984	81,802	627,797
出来高				39.9%	46.5%	25.1%	45.9%	54.7%	35.7%	83.8%	80.4%	78.7%	93.1%	92.8%	89.4%	100.0%	100.0%	100.0%

支障木伐採 全体計画

河川	令和1年度 (ha)	令和2年度 (ha)	令和3年度 (ha)	令和4年度 (ha)	令和5年度 (ha)	令和6年度 (ha)	令和7年度 (ha)
15河川	38.8	33.3	18.4	31.6	56.7	0.8	32.0
累計	38.8	72.1	90.5	122.2	178.8	179.6	211.7
出来高	18.3%	34.1%	42.8%	57.7%	84.5%	84.9%	100.0%



迫川(築館工区)河川改修事業
〈築堤工事・排水樋管工事〉

荒川河川改修事業
〈荒川横断サイフォン改築・築堤〉

照越川河川改修〈河道拡幅〉
河道が狭く、蛇行区間が多いことから、度重なる破堤や越水被害を受けたため、河道拡幅や堤防補強等を行い、治水安全度の向上を図っています。



小山田川河川改修〈堤防強化〉

堤防高や堤防幅が不足し、度重なる地震等の影響などから脆弱化が見られることから、堤体盛土等を行い堤防の機能強化を図っています。



凡 例	
—	東北自動車道
—	国道4号、47号
—	国道398号、457号
—	主要地方道
—	一般県道
—	スノーシェッド・スノーシューター
○	起 点
●	終 点
—	一般河川
○	上 流 端
○	築館固定公園
○	環境保全地域
○	地すべり防止区域
○	急傾斜地崩壊危険指定地域
○	砂防指定地
○	道路情報板
○	限水標
○	通行規制用ゲート
○	橋 門
○	越 流 堤

凡 例	
—	行政区域
—	都市計画区域
—	第一種中高層住居専用地域
—	環境保全地域
—	第一種住居地域
—	近隣商業地域
—	商業地域
—	準工業地域
—	工業地域
—	都市公園区域